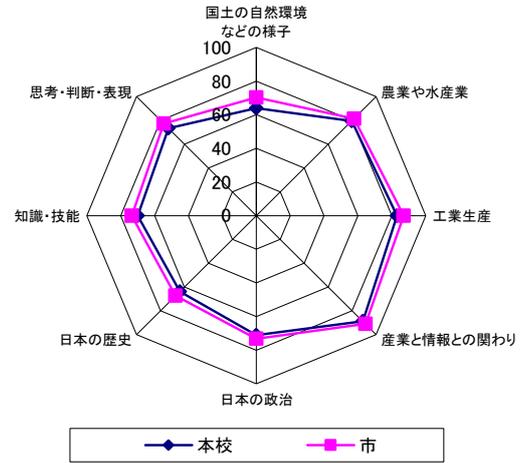


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	63.9	70.3	66.4
	農業や水産業	79.6	81.6	75.3
	工業生産	83.0	87.0	77.7
	産業と情報との関わり	88.9	91.0	81.3
	日本の政治	71.1	73.2	75.3
観点別	日本の歴史	63.8	67.4	68.5
	知識・技能	70.0	73.5	72.5
	思考・判断・表現	73.4	77.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○近年日本で起きた自然災害の発生場所について問う問題では、市の平均を約3ポイント上回った。 ●赤道や季節風についての理解を問う問題では、市の平均より10ポイント程低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・世界や日本の国土に関する問題では、基礎的な知識の定着が見られる。教科書に地名などが出てきた際には、地図帳を使って見つけたり調べたりする活動を取り入れ、地図を目にする機会を増やしていく。
農業や水産業	本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○米の生産量が多い地域を地図から読み取る問題や、米の品種改良についての理解をもとに資料を読み取り表現する問題では、全国平均を約2ポイント上回った。 ●水揚げされた魚の出荷作業における工夫について資料をもとに表現する問題では、全国の平均を3ポイント下回った。	・日本の食料生産については、日頃の生活を想起させながら自分たちの生活とどう関わっているのかを考える機会を意図的に増やしていく。資料の提示の仕方や発問を工夫することで、どうしてだろうという問いを持たせ、主体的に調べたり考えたりする態度を育てたい。
工業生産	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○自動車を作る工程についての理解を問う問題や、安全性の高い自動車づくりについて資料をもとに考える問題では、市の平均と同程度であった。 ●日本の貿易の変化について資料をもとに表現する問題では市の平均を10ポイント程下回った。	・資料から分かることの読み取りを苦手とする児童が多いと考えられる。まずは、資料から分かることを読み取る活動を積み重ねていく。さらに、映像資料等を活用して視覚的に学べる授業展開をすることで、理解を深めることができるようにする。 ・記述して答える問題では学んだ知識を生かして、自分の考えや学んだことをまとめる活動を繰り返し、書くことへの苦手意識を減らしていきたい。
産業と情報との関わり	本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○情報の発信と受信の注意点について考える問題では、市の平均に近かった。 ●情報を生かした産業について考える問題では、市の平均より3.3ポイント低い。	・それぞれのメディアの特徴については、普段の生活と関係しているものが多いことから正答率も高くなったと考えられる。今後は学習したことについて、経験を想起させたり自分の生活と関連付けて考えさせたりすることで知識の定着を図るとともに、インターネットの利用の仕方について実感の伴った理解ができるようにしたい。
日本の政治	本校の平均正答率は、市の平均と比べると日本国憲法については高いが政治については低い。 ○日本国憲法についての理解や基本的人権などの原則についての理解を問う問題では、市の平均を5ポイント近く上回った。 ●租税の役割についての理解をもとに判断する問題の正答率は53.7%で、市の平均より13.3ポイント低い。	・政治の仕組みについては、自分たちの生活と密接に関わっていることを実感させる必要があると考えられる。文章だけでなく図表にまとめる活動を取り入れ、自分たちの生活とどのように関係しているのかを話し合うなど、まとめたりすることを通して、政治への関心を高めていきたい。
日本の歴史	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○織田信長の業績についての理解を問う問題では、正答率が市の平均を上回る結果だった。 ●「能」についての理解を問う問題では、市の平均を14ポイント下回った。 ●平安時代のかな文字についての問題では、市の平均を8.2ポイント下回った。	・記述する問題に苦手意識が高い傾向にある。新しい言葉や人物について学習する際には、興味関心を高める導入や学習活動を工夫し、教科書や資料集にある図や資料を効果的に活用しながら理解を深めたい。また、歴史におけるつながりや政策の意図などについて問題意識を持たせながら、自分の考えや学びをまとめることを通して少しずつ書く力を伸ばしていきたい。